

事

男女共同参画に関する事業所アンケート

令和7年11月
山陽小野田市

アンケートご協力をお願い

市では、男女が対等なパートナーとして社会のあらゆる分野に参画し、共に責任を分かち合うことのできる男女共同参画社会の実現を目指すため、「さんようおのだ男女共同参画プラン」を策定し、様々な施策に取り組んでいるところです。

さて、このたび、市内事業所の経営者等の皆様に、事業所経営における男女共同参画に関する意識や実情をお聞きし、今後の施策へ反映するため、標記アンケート調査を実施することといたしました。

調査は、市内の事業所200社を無作為で選ばせていただき、お願いするものです。

ご回答は無記名とし、計画策定の基礎資料にのみ活用させていただきます。また、ご回答いただいた集計結果は、ホームページ等で公開させていただきます。

お忙しいところ、誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、何卒ご協力くださいますようお願い申し上げます。

◆ ご記入にあたってのお願い ◆

1. 事業所(事業主の方)のご判断でご記入ください。
2. 回答は、「1つだけ」、「いくつでも」などの指示に従い、別紙回答欄に数字を記入し、回答が「その他」の場合はさらに具体的内容を記入してください。
3. 記入いただいた回答票は、同封の返信用封筒に入れて、**11月28日(金)まで**に投函してください。
4. インターネットからの回答も可能です。下記URLまたは、QRコードからアクセスして回答してください。

5. この調査についてご不明な点やご質問がありましたら、以下にお問い合わせください。

山陽小野田市 協創部
市民活動推進課 人権・男女共同参画室
電話 0836-82-1137

1. 市内の貴事業所の概要について

⑥ F1～F5については令和7年11月1日現在でお答えください。

F1 業種 《別紙の回答票に数字を記入してください。(以下全ての質問も同様)》

- | | |
|---------------|-----------|
| 1. 建設業 | 2. 製造業 |
| 3. 電気・ガス・水道業 | 4. 情報通信業 |
| 5. 運輸業 | 6. 卸売・小売業 |
| 7. 金融・保険業 | 8. 不動産業 |
| 9. 飲食店・宿泊業 | 10. 医療・福祉 |
| 11. 教育・学習サービス | 12. サービス業 |
| 13. その他 () | |

F2 従業員数

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. 1～29人 | 2. 30～199人 |
| 3. 200～399人 | 4. 400～599人 |
| 5. 600～799人 | 6. 800～999人 |
| 7. 1000人以上 | |

F3 女性の従業員の割合(全従業員のうち女性が占める割合)

- | | |
|-----------|-----------|
| 1. 0～9% | 2. 10～19% |
| 3. 20～29% | 4. 30～39% |
| 5. 40～49% | 6. 50%以上 |

F4 女性の従業員数のうち正規従業員の割合(全女性の従業員のうち正規従業員が占める割合)

- | | |
|-----------|-------------|
| 1. 0～9% | 2. 10～19% |
| 3. 20～29% | 4. 30～39% |
| 5. 40～49% | 6. 50～59% |
| 7. 60～69% | 8. 70～79% |
| 9. 80～89% | 10. 90～100% |

F5 女性の管理職(課長級以上)への登用状況

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 登用している | 2. 登用していない |
|-----------|------------|

↓
全課長職以上の管理職のうち
女性が占める割合は何%ですか。
割合を記入してください。

↓
問2へ

↓
問1へ

2. 女性の登用・活躍促進について

問1 F5の女性の管理職について「2 登用していない」を選んだ方は、理由を次の中からいくつでもあげてください。

1. 必要な知識や経験、判断力等を有する女性がない
2. 管理職になるまでに退職してしまう
3. 女性自身が管理職になることを希望しない
4. 上司・同僚・部下になる者が女性の管理職を希望しない
5. その他 ()

問2

女性の管理職を増やすためには、どのような取り組みが必要だと思いますか。次の中からあてはまるものをいくつでもあげてください。

1. 産休・育休・介護休暇などの取得を促進する
2. 昇進・昇格・人事評価を明確にする
3. 女性社員の職域を拡大する
4. 会社全体の意識改革を行う
5. 女性のキャリアアップの支援をする
6. 一定の人数や割合で女性の管理職を任用する
7. 女性リーダーの育成を推進する
8. その他 ()
9. 必要と思わない

問3

女性従業員が活躍することで、どのような効果があると思いますか。次の中からいくつでもあげてください。

1. 男女を問わず優秀な人材が活躍できるようになる
2. 企業のイメージアップにつながる
3. 企業の生産性が向上する
4. 女性の視点を企業が取り入れることにより、多様なニーズに応えられる
5. 女性の声が反映されるようになり、女性の働く意欲が向上する
6. 労働時間の短縮等、職場風土の改善で組織が活性化される
7. 少子高齢化社会を踏まえて労働力が確保できる
8. その他 ()
9. 効果はないと思う

3. ワーク・ライフ・バランスについて

問4

従業員のワーク・ライフ・バランスについてどの程度取り組んでいますか。あてはまるものを1つだけお答えください。

1. 積極的に取り組んでいる
2. 取り組んでいる
3. あまり取り組んでいない
4. 全く取り組んでいない

問5

貴事業所でワーク・ライフ・バランスについて取り組んでいることを次の中からいくつでもあげてください。

1. フレックスタイム制度
2. テレワーク（在宅勤務）
3. ノー残業デーの設置
4. 短時間勤務制度
5. 育児・介護に関する経済的支援
6. 有給休暇の取得奨励
7. 有給休暇を半日あるいは時間単位で取得できる
8. 育休・介護休業の取得者に対する職場復帰支援
9. 就業形態の移行制度の整備（正規⇔非正規）
10. 事業所内保育所の整備
11. その他 ()
12. 特に取組は行っていない

問6

貴事業所でワーク・ライフ・バランスを推進する上で重要なことは何ですか。次の中からあてはまるものをいくつでもあげてください。

1. 企業トップの意識
2. 保育園等社会環境の整備
3. 上司・同僚の理解
4. 育児・介護休業法等、法律の知識普及
5. 行政の経費援助
6. 働き方、仕事の進め方を見直す
7. 残業時間を減らし、休日の増加を促進する
8. その他 ()

4. ハラスメントに対する取組について

問7-1

貴事業所ではハラスメント防止に取り組んでいますか。取り組んでいる場合、次の中からあてはまるものをいくつでもあげてください。

1. セクシュアル・ハラスメント
2. 性的マイノリティ (※) に対するハラスメント
3. パワー・ハラスメント
4. マタニティ・ハラスメント
5. その他 ()
6. 取り組んでいない

問7-2へ

※レズビアン（女性の同性愛者）、ゲイ（男性の同性愛者）、バイセクシャル（両性愛者）、トランスジェンダー（出生時に割り当てられた性と実感する性別とが一致しない状態の人）、クエスチョニング（自身の性自認や性的指向が定まっていない状態にある人や意図的に定めていない人）等が、人口に占める割合が少ないことから性的マイノリティ（性的少数者）と言われることがあります。

問7-2

問7-1で1～5のいずれかを選んだ方に伺います。貴事業所でのハラスメント防止の取組内容について、次の中からあてはまるものをいくつでもあげてください。

1. 就業規則等に禁止を明文化
2. 啓発資料の配布・掲示
3. 管理職への研修・講習会等の実施
4. 従業員等への研修・講習会等の実施
5. 実態把握調査の実施
6. 相談窓口の設置
7. その他 ()

5. 男女共同参画社会の実現に向けた行政施策について

問8

貴事業所の男女共同参画を実現するために、山陽小野田市はどのような施策を推進すればよいと思いますか。次の中から3つまででお答えください。

1. 事業所を対象としたワーク・ライフ・バランスをテーマにしたセミナーの開催
2. 事業所を対象とした女性リーダーを育成するセミナーの開催
3. 広報紙やパンフレットなどによる男女共同参画についての啓発
4. 就業に必要な能力・技術を習得するための講座の開催
5. 保育施設や保育サービスの充実
6. 在宅介護サービスや介護施設の充実
7. 就労の相談機関の充実
8. その他 ()
9. 特になし

問9

職場における男女共同参画について、貴事業所が特に推進されている取組や、ご意見等ございましたらご記入ください。

ご協力いただき、ありがとうございました。

お手数ですが、回答票を返信用封筒に入れ、11月28日までに投函してください。